

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成31年3月7日(2019.3.7)

【公開番号】特開2017-133073(P2017-133073A)

【公開日】平成29年8月3日(2017.8.3)

【年通号数】公開・登録公報2017-029

【出願番号】特願2016-14137(P2016-14137)

【国際特許分類】

C 2 2 B 23/00 (2006.01)

B 0 1 D 53/14 (2006.01)

C 2 2 B 3/08 (2006.01)

C 2 2 B 3/44 (2006.01)

B 0 8 B 9/08 (2006.01)

【F I】

C 2 2 B 23/00 1 0 2

B 0 1 D 53/14 2 0 0

C 2 2 B 3/08

C 2 2 B 3/44 1 0 1 A

C 2 2 B 3/44 1 0 1 B

B 0 8 B 9/08

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月25日(2019.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

溶液に硫化剤を添加して硫化反応を生じさせた反応容器内に残存する硫化水素を除去する残存硫化水素の除去方法であって、

前記反応容器から前記硫化反応によって生成した工程液を抜き、該工程液を抜いた後の該反応容器に全容積の 30 体積%以上 100 体積%以下に相当する量の水を入れて攪拌することによって、該反応容器に付着している硫化水素を含む該工程液を洗浄除去し、

前記水を抜いた後の前記反応容器に不活性ガスを充填する

残存硫化水素の除去方法。

【請求項 2】

前記反応容器に入れた水の攪拌時間を、10 分以上とする

請求項 1 に記載の残存硫化水素の除去方法。

【請求項 3】

前記溶液は、

ニッケル酸化鉱石に硫酸を用いて高温高压下で酸浸出してニッケル及びコバルトを含む浸出液を得て、該浸出液を中和した後、中和後の浸出液に対して硫化剤による硫化処理を施して生成したニッケル及びコバルトの硫化物を分離した後に得られる溶液である

請求項 1 又は 2 に記載の残存硫化水素の除去方法。